

産業振興新指針改訂の視点（素案）

重点的に振興すべき産業の検討

新指針のなかで、3KBI産業に対する戦略的な取り組みを展開してきたが、分野ごとの発展方策について再検討する。

連携構築による新事業展開を強化

企業の強みを活かし、製品やサービスの高付加価値化を図ることが重要であることから、産学官連携や企業間連携による、新事業展開を重視する。

ものづくりの新たな展開

滋賀県の製造業を支える基盤技術を担う企業の競争力強化を図る。

人づくりの視点を充実

到来する人口減少社会に対応していくには、21世紀の産業を支える「人づくり」の重要性を再認識した対応を検討する。

個店の魅力向上による新しい時代にふさわしい商業振興地域の強みを活かした魅力ある「個店」づくりによる、地域経済の発展を図る。

多様性のあるサービス産業の展開

サービス産業は、今日の社会ニーズの変化や多様性に対応可能な新しいモデルを生み出すことが求められている。また、多様な雇用形態の受皿としても期待できることから、新たな展開を検討する。

広域化・国際化への対応

企業・工場の国際拠点の形成や外資系企業の立地など県域を越えた交流・連携が進み、加速していることから、これらに対応した展開を図る。

労働力確保の観点

「人づくり」と関連して、安定的な労働力確保の観点からの展開を図る。